

いのちの営みの「在り処」



2022年5月22日（日）

14:00～16:00 開場13:30

塩尻市北部交流センター（えんてらす）

1階 101・102会議室

定員／50人（先着順） 参加費／無料

聞き手／神谷さだ子

（チェルノブイリ連帯基金事務局長）

【申し込み】 申込開始：4月12日（火）

広丘支所窓口、電話（0263-52-0305）、メール。
メールの場合は次の内容をお送りください。

宛先 hirooka@city.shiojiri.lg.jp

件名 「5/22 本の寺子屋申込」

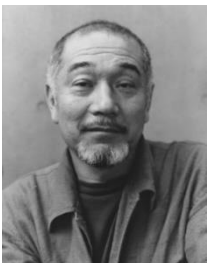
本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)

2 代表者電話番号

3 お住まいの地区

4 この講演を知ったきっかけ

講師プロフィール



本橋成一（もとはしせいいち）

写真家、映画監督。九州・北海道の炭鉱の人々を撮った作品『炭鉱<ヤマ>』で、1968年第5回太陽賞受賞。以後、サーカス、上野駅、築地魚河岸、大衆芸能など、市井の人々の生きざまに惹かれ写真を撮り続ける。映画監督作品にチェルノブイリ原発事故の被災地で暮らす人々を撮影した『ナージャの村』『アレクセイと泉』など作品多数。写真集に『屠場』、『上野駅の幕間』（平凡社）、『在り処』（NOHARA）。写真絵本に『アレクセイと泉のはなし』（アリス館）、『うちは精肉店』（農文協）など。1998年、写真集『ナージャの村』で第17回土門拳賞を受賞。